

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：アミド硫酸

製品番号 (SDS NO)：D000250-3

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：国産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署：品質保証部

電話番号：0120-81-5930

FAX：0120-11-5930

e-mail address：cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先電話：0120-81-5930

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2A

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

化学的特定名：スルファミン酸

慣用名又は別名：アミド硫酸

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化学式	安衛法官報整理番号
スルファミン酸	99.5 ≤	5329-14-6	1-402	H3NO3S	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

被災者を温め、安静にする。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入：灼熱感、咳、息切れ

皮膚：発赤、痛み、水疱

眼：発赤、痛み、重度の熱傷

経口摂取：胃痙攣、灼熱感、咽頭痛、嘔吐、ショック

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現れない場合が多く、安静を保てないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。

医師または医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。

### 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

当該製品は分子中にN,Sを含有しているため、火災時には一酸化炭素の他、窒素酸化物、硫黄酸化物系の有毒ガスを発生するおそれがある。

爆発性、引火性のいずれもないが、密閉容器内で金属が侵され、水素が発生した場合は引火、爆発の危険性がある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

真空中で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で掃き集め、密閉できる容器に回収する。

残留分を注意深く中和し、多量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：結晶または粉末

色：無色  
臭い：無臭  
融点/凝固点：(decompose)ca. 205°C  
沸点又は初留点：知見なし  
可燃性(ガス、液体及び固体)：なし(特定の条件下で可燃性)  
分解温度：205  
pH：1.2(1%水溶液、25°C)  
溶解度：  
水に対する溶解度：溶ける溶ける(徐々に反応する)  
溶媒に対する溶解度：液体アンモニア、ホルムアミドに可溶。メタノールに微溶。アセトンにやや可溶。  
エーテルに難溶。  
n-オクタノール/水分配係数：log Pow0.1  
密度及び/又は相対密度：2.15

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

加熱や燃焼により分解し、窒素酸化物、硫黄酸化物を含む有毒で腐食性のフュームを生じる。  
この物質の水溶液は強酸であり、塩基と激しく反応し、腐食性を示す。  
塩素、発煙硝酸と激しく反応して、爆発の危険をもたらす。  
水と徐々に反応し、硫酸水素アンモニウムを生成する。

### 混触危険物質

塩基、強酸化性物質、食品や飼料

### 危険有害な分解生成物

硫黄酸化物、窒素酸化物

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性データなし

#### 局所効果

##### 皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]  
(スルファミン酸)

ラビット(OECD TG404, GLP) 刺激性 (IUCLID, 2000)

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]  
(スルファミン酸)

ラビット(OECD TG405, GLP) 刺激性 (IUCLID, 2000)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

#### 生殖細胞変異原性データなし

#### 発がん性データなし

#### 催奇形性データなし

#### 生殖毒性データなし

#### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分に該当しない]

[会社固有データ]

ラットを用いた90日間混餌投与試験(OECD TG 408; GLP)において、高用量の20000 ppmで成長遅延、臓器重量増加、一部の動物では腎尿細管のわずかな脂肪変性以外に影響は認められていない(IUCLID(2000))。また、NOAELが10000 ppm(500 mg/kg bw/dayに相当)と報告されていることに基づき、経口経路では区分外に相当するが、他の投与経路によるデータがなく「分類できない」と

した。なお、ヒトで酸性ヒュームの長期曝露により慢性咳を伴う気管支刺激や気管支肺炎がよく起こるとする記述(DHP(13th, 2002))がある。  
誤えん有害性データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(スルファミン酸)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=70.3mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

#### 水溶解度

(スルファミン酸)

溶ける(徐々に反応する)(ICSC, 1994)

#### 残留性・分解性

(スルファミン酸)

急速分解性なし(BIOWIN)

#### 生体蓄積性

生体蓄積性データなし

#### 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

#### 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

#### 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

#### 汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 2967

正式輸送名 :

スルファミド酸

分類または区分 : 8

容器等級 : III

指針番号: 154

### 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当

### 国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類8  
航空法  
腐食性物質 分類8

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。  
労働安全衛生法  
有機溶剤等に該当しない製品  
労働安全衛生法に該当しない。  
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)に該当しない。  
消防法に該当しない。  
化審法に該当しない。  
日本法規に該当しない。  
適用法規情報  
輸出貿易管理令

#### 16. その他の情報

##### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.17 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

##### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によつて改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。